

当院の救急診療について

救急科部長

齋藤 力三

救急医療体制は、症状の度合いに応じて、入院を必要としない軽症の救急患者に対応する「初期救急医療体制」、入院や手術を必要とする重症の患者に対応する「第二次救急医療体制」、生命の危機が切迫している重篤な患者に対応する「第三次救急医療体制」となっています。当院の位置づけは、第二次救急医療体制に含まれる二次救急病院でありません。したがって、当院では、開業医などの一次医療機関からの紹介や救急車の受け入れ、入院や手術が必要となるような患者に対応しております。

平日の通常業務時間内は、地域総合診療研

市立病院だより

ほほえみ

発行 越谷市立病院
 発行人 院長 丸木 親
 編集 院内情報誌編纂委員会
 連絡先 〒343-8577
 越谷市東越谷10-47-1
 電話 048-965-2221 (代)
 F A X 048-965-3019
 発行日 平成28年7月 (No.28)

究講座の医師や各科の医師が対応しております。地域総合診療研究講座は、総合診療科および救急救命科において日本をリードしている順天堂大学医学部の総合診療科講座と救急・災害医学講座から、医師を派遣していただき診療を行っています。救急外来に來られる患者さんの中には、どの科を診察しなければならぬかすぐにわからない場合もあります。そのような場合に、丁寧かつ迅速に診察、採血、画像検査をして診断を絞り込み、必要があれば各診療科とも連携をとり適切な診断および治療を、地域総合診療研究講座の医師に進めていただいています。

平日の夜間および休日の終日は、通常6人の医師（内科・外科・小児科・産婦人科・脳神経外科・連合）が時間外当直として救急診療をしております。連合は、整形外科・泌尿

器科・皮膚科のいずれかが当番となります。必要に応じて、越谷市夜間救急診療所から紹介を受け、採血や画像診断を含めた診療を当直医が行うこともあります。

医療資源、特に医師や医療スタッフなどの人材やMRIなどの医療機器には、限りがあります。地域の開業医の先生や病院と連携して、地域の中で救急患者に対応しております。当直の医師は、入院患者の対応も兼務しております。そのため、緊急手術や病棟の急変などで迅速な救急外来での診察が困難な場合もあります。また、当院で対応できる科に制限があり、怪我や病気の内容によっては対応できない場合もあります。時間外の救急診療のため、希望される検査や治療ができるとは限りません。救急外来の受診を希望される方は、来院される前に、まずお電話でご連絡してください。限られた人的資源で出来る限りの対応を心掛けております。今後は、一次医療機関との連携をさらに強くして、地域全体で協力して救急患者の対応にあたりたいと思います。

地域総合診療研究講座の紹介

地域総合診療研究講座 村田 健介

地域総合診療研究講座の医師は、平成23年5月より当院に配置されました。人口が急増する埼玉県東南部地域の救急医療体制の改善のために越谷市の協力のもと開始しました。開始当初より医師は2人態勢で対応しています。総合診療医と言われても実際に何をしている医師なのかはわからない方も多いとも思いますので、この場をお借りして紹介をさせていただきます。

主に3つのことを行っております。1つ目が救急外来での初期対応です。救急外来で救急車の対応や時間外の救急患者様の対応を中心に診ています。これがメインの仕事であり、埼玉県東南部地域の救急車や救急患者を1台でも1人でも多く受け入れるように日々努力しています。しかしながら当医師の人数の問題もあり初期対応のみとしています。入院の際は申し送りをした上で当院の各診療科の先生方に協力して入院加療をお願いしております、各診療科とも良い関係を築いています。2つ目は地域のクリニックから、どの診療科に紹介してよいかわからない原因不明の発熱・脱力感等の患者



様のご紹介をうけております。地域のクリニックの先生方からも好評であり紹介数は徐々に増えてきております。地域のクリニックの先生方を通じて事前予約のみとなっておりますのでご注意ください。3つ目は院内での緊急コールの対応です。院内での緊急コールには迅速な対応が必要不可欠となっております。普段から救急車の対応に慣れている当医師が率先して対応しています。

診療実績は年々増加しており、平成27年度患者数は1,511人となっております(表1)。これも地域の皆様、越谷市、地域の救急隊、当院の各診療科のスタッフ等のご理解およびご協力があるからこそと思っております。今後とも埼玉県東南部地域の救急医療のため頑張っていきますので、よろしくお願いたします。

	平成23年度 (6月～)	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
患者数	808	982	1072	719	1511

表1.総合診療医の取り扱い患者数の推移(単位:人/年)

北海道のこだわり満載

「北の厨房 越谷市立病院店」

株式会社 デンシヨク 営業部 稲田

2016年4月1日リニューアルの病院内食堂「北の厨房」は、北海道色が満載!

PR① こだわりの北海道食材♪

食堂で使用するお米はもちろん北海道産100%!その他、産地直送の野菜やお魚お肉等々、当店ならではのこだわりです!

PR② こだわりの北海道ラーメン♪

ラーメンにもこだわります!麺は、札幌の老舗製麺会社「森住製麺」の生麺を使用北海道でお馴染みのたまごちぢれ麺を染しめます。タレも札幌の食品製造会社「アイビック食品」との共同開発による自社PBブランドを使用。麺にタレにこだわった北海道ラーメンがお楽しみ頂けます特に「味噌バターコーンラーメン ¥550」はイチオシ!

PR③ こだわりの北海道フェアー

月1回開催イベントでは、北海道の食をテーマとし、道産食材にこだわった産直イベントや、北海道のご当地グルメ等々当店ならではの取り組みが目白押しです!

北海道のこだわり満載の「北の厨房」。スタッフ一同、お客様の来店を心よりお待ちしております!

救急外来の受け入れについて

外来・救急師長 大塚 左知子

当院の救急外来は、二次救急病院になっていきます。年間約4,000台の救急車の受け入れをし、年間10,000人の救急患者様を受け入れています。また、患者様より電話でのお問い合わせや、相談にもお答えしています。

当院の救急外来は、内科、外科、小児科、産婦人科、脳神経外科（神経内科含む）の他に整形外科、泌尿器科、皮膚科のうち1科が当番制で救急患者の診療と入院患者の病状管理を行っています。救急外来での患者様の受診までの流れとしては、

- ① まずは、お電話で受診したい旨をご連絡ください。その際に、電話で看護師がお名前、年齢、性別、症状をお聞きますのでお答えください。当院の診察券をお持ちの方は診察券を用意してお電話してください。
- ② 看護師が担当の医師に連絡をし、受診の確認を取ります。
- ③ 電話で受診できることが確認できましたら、患者様は救急外来にいらしてください。来院時、受付で電話した旨をお伝えください。看護師が対応いたします。
- ④ 診察は来院した順番で行っていますが、当院の救急外来は院内トリアージを導入しており

ますので、患者様の症状により診察の順番が変わる場合がありますので、ご理解願います。

※院内トリアージとは

診察前に専門知識を有した看護師が症状を伺い、患者様の緊急度・重症度を判断しより早期にケアを要する患者様から優先して診療する方法

救急外来よりお願い

当院は24時間体制で緊急手術、緊急の心臓カテーテル検査等に、迅速に対応しています。そのため、電話で受付をされています受診の際にお待たせすることがありますので、ご了承ください。

新採用医師の紹介

○4月1日付

- | | |
|--------|-------|
| (内 科) | 坂本 真吾 |
| (消化器科) | 草間ひろみ |
| (循環器科) | 恩田 俊仁 |
| (循環器科) | 日下 国彦 |
| (小児科) | 萩原 友紀 |

(小児科)

長谷川恵理

(外 科)

辻 未来

(外 科)

水越 幸輔

(脳神経外科)

杉山 夏来

(産 科)

高橋奈々子

(眼 科)

宮地 紗里

(地域総合診療研究講座)

村田 健介

編集後記

今年は、5月より真夏日のような気温上昇がありエルニーニョ現象の影響を受けているとニュース等で伝えられています。エルニーニョ現象の7〜8月は、いつもより涼しくなるといわれているのを知っていましたか？予報どおりであればやや涼しい夏のはずですが、予報は、外れる事もあります。夏風邪を引かないよう体調管理に気を付けましょう。

院内情報誌編集委員長 尾羽澤 英子